

## 鳥取県経済 8月の動き

## 概況

■県内の経済活動は、生産活動は前月比、前年比ともに低下した。

個人消費は、新車販売台数は前年比で増加したが、大型小売店販売額(百貨店)は減少した。

建設関係は、新設住宅着工戸総数は前年比で減少し、公共工事請負金額も減少した。

雇用情勢は厳しさが続いている。

■全国の鉱工業生産指数(季節調整済=以下季調済)は、前月比で低下した。

【生産活動】 鉱工業生産指数は、前月比(季調済)、前年比(原指数)ともに低下。

…P. 2 出荷指数(季調済)は低下。在庫指数(季調済)は上昇。

【大口電気使用量】 22ヶ月連続で減少した。

…P. 3

【建設】 公共工事請負金額は、前年比で微減。

…P. 4 新設住宅着工戸数(総数)は、前年比で減少。

【個人消費】 新車販売台数は、11ヶ月連続で増加。

…P. 5 県内3百貨店売上高は、2ヶ月連続で減少。

スーパーは、3ヶ月ぶりで増加。

ホームセンターは、4ヶ月ぶりで増加。

家電量販店は、8ヶ月ぶりで増加。

【雇用情勢】 新規求人数と新規求職者数はともに2ヶ月ぶりで減少。

…P. 6 新規求人倍率(季調済)は低下。

有効求人倍率(季調済)は低下し、3ヶ月ぶりで0.6倍台。

【企業倒産】 倒産件数、負債総額ともに減少。

…P. 6

【経済指標】 …P. 7

【特集 山陰海岸ジオパーク認定から2年】 …P. 10

【相談ジャーナル】 …P. 11

【とりぎん 宝くじ付 夢 定期預金のご案内】 …P. 12

# 生 産

## 【鉱工業生産動向＝7月】

### ■季調済指数(前月比)

生産指数は、食料品・たばこ、電子部品・デバイス、一般機械等が低下し、64.7（前月比▲11.6%）と2ヶ月連続で前月を下回った。

出荷指数は、食料品・たばこ、電子部品・デバイス、電機機械等が低下し、62.6（同▲10.2%）と2ヶ月連続で前月を下回った。

在庫指数は、電子部品・デバイス、食料品・たばこ、プラスチック製品等で上昇し、93.6（同+4.6%）と3ヶ月連続で前月を上回った。

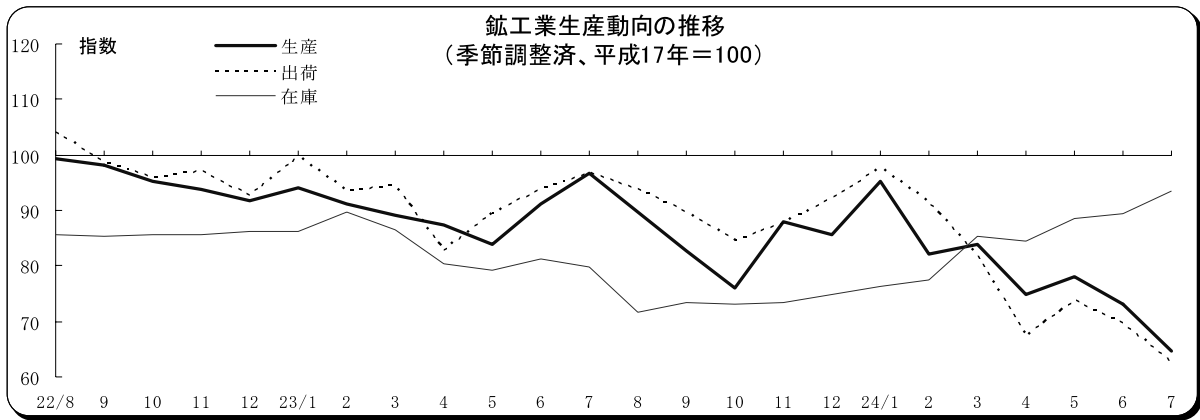
### ■原指数(前年比)

生産指数は、70.2（前年比▲28.9%）と6ヶ月連続で前年を下回った。

出荷指数は、67.4（同▲32.9%）と5ヶ月連続で前年を下回った。

在庫指数は、94.4（同+18.1%）と4ヶ月連続で前年を上回った。

※平成23年1月以降の指標は補正が行われました。



鳥取県業種別鉱工業生産指数 (平成17年＝100、前月比・指数は季節調整済、前年比は原指数)														全 国 鉱 工 業 生 産 指 数 平 成 1 7 年 ＝ 1 0 0
鉱 工 業		金 属 品	一 般 機 械	電 機 機 械	情 報 通 信 機 械	電 子 部 品 デバイス	窯 業 石	プ ラ ス チ ッ ク 製 品	パ ル プ ・ 紙 ・ 紙 加 工 品	織 維	食 料 品 たばこ			
ウ エ イ ト	10,000.0	506.7	538.1	1,355.6	1,383.7	1,848.2	518.9	303.8	436.9	425.5	2,011.0			
指 数	前月比	前 年 比												
20 年	93.9	—	▲ 6.3	▲ 4.4	▲25.6	6.1	×	▲ 0.9	▲ 9.2	▲ 1.7	▲ 2.2	▲ 5.2	1.4	▲ 3.4
21 年	85.4	—	▲ 9.1	▲22.0	▲30.4	▲ 6.4	×	▲29.9	▲13.2	▲12.4	▲15.4	▲21.6	4.3	▲22.4
22 年	97.5	—	14.2	▲14.9	48.1	0.9	×	50.9	21.2	▲ 5.6	9.3	10.0	▲11.3	16.4
23 年	87.9	—	▲10.3	▲ 3.0	▲15.1	▲19.0	×	▲23.0	▲10.3	▲33.9	3.9	▲ 0.4	13.4	▲ 2.3
23. 7	91.1	1.2	▲ 7.3	▲ 7.7	▲25.9	▲ 0.1	×	▲34.5	▲ 8.6	▲42.8	▲ 6.7	▲ 4.7	18.2	▲ 1.7
8	92.8	1.9	▲ 6.6	11.3	▲28.0	▲33.1	×	▲26.2	▲ 8.4	▲40.1	▲ 2.7	2.7	19.0	1.6
9	83.3	▲10.2	▲15.2	2.2	▲40.3	▲45.5	×	▲31.1	▲ 8.6	▲36.2	7.5	3.0	20.3	▲ 2.4
10	74.4	▲10.7	▲20.1	6.9	▲37.7	▲54.6	×	▲32.8	▲ 8.1	▲39.5	▲ 1.7	0.0	22.2	0.9
11	87.1	17.1	▲ 6.4	0.3	36.6	▲50.7	×	▲31.9	▲ 8.3	▲38.3	▲ 2.9	0.5	5.2	▲ 2.9
12	85.9	▲ 1.4	▲ 8.7	3.1	▲ 1.4	▲45.1	×	▲23.7	▲ 7.6	▲38.3	▲ 1.7	4.2	8.0	▲ 3.0
24. 1	96.2	12.0	1.1	4.5	6.1	▲37.9	×	▲20.3	6.3	▲35.8	▲ 2.8	1.8	12.6	▲ 1.6
2	89.4	▲ 7.1	▲ 3.7	21.8	▲21.2	▲36.1	×	▲ 7.5	▲ 1.6	▲38.8	▲ 2.7	7.7	▲ 0.1	1.5
3	84.9	▲ 5.0	▲ 9.0	▲ 4.9	10.1	▲39.5	×	▲16.2	1.9	▲19.8	▲ 2.2	▲ 1.0	▲ 7.2	14.2
4	74.9	▲11.8	▲13.9	10.1	▲ 7.4	▲49.1	×	▲10.2	▲42.3	▲11.8	▲11.2	9.2	▲ 1.2	12.9
5	78.0	4.1	▲ 8.6	18.2	7.3	▲40.5	×	▲23.4	▲37.9	▲ 3.2	▲ 7.8	9.5	8.9	6.0
6	73.2	▲ 6.2	▲18.6	▲ 3.9	▲ 7.8	▲41.7	×	▲14.6	▲36.7	4.4	▲ 5.7	1.6	▲10.2	▲ 1.5
7	64.7	▲11.6	▲28.9	▲ 3.5	▲20.2	▲37.0	×	▲19.1	▲40.8	7.0	1.5	3.5	▲ 8.0	▲ 0.8
24年7月の 指数(季調済)	64.7	—	—	72.6	60.0	60.5	×	56.4	27.5	55.3	94.4	68.0	89.8	91.7

※pは速報値、rは修正値

# 生 産

## 【電子部品・デバイス】

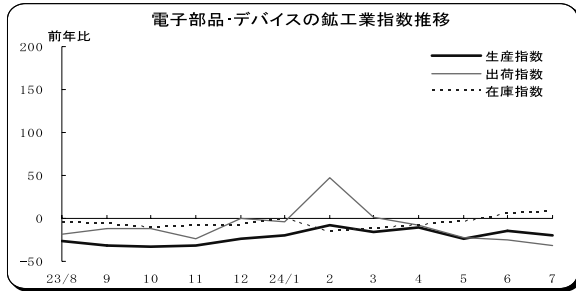
～生産指数は18ヶ月連続で低下～

電子部品・デバイスの生産指数（原指数7月）は、半導体素子、電子・通信機器用部品などで低下し、59.4（前年比▲19.1%）と18ヶ月連続で前年を下回った。

出荷指数（原指数）は88.7（同▲32.0%）と4ヶ月連続で前年を下回った。

在庫指数（原指数）は61.9（同+7.8%）と2ヶ月連続で前年を上回った。

※平成23年1月以降の指標は補正が行われました。



## 【食料品・たばこ】

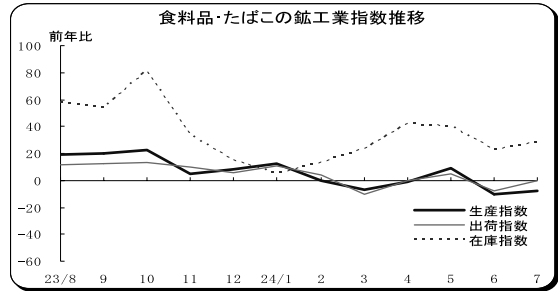
～生産指数は2ヶ月連続で低下～

食料品・たばこの生産指数（原指数7月）は、その他の食料品などで低下し、94.9（前年比▲8.0%）と2ヶ月連続で前年を下回った。

出荷指数（原指数）は46.2（同+0.2%）と2ヶ月ぶりで前年を上回った。

在庫指数（原指数）は175.2（同+28.7%）と17ヶ月連続で前年を上回った。

※平成23年1月以降の指標は補正が行われました。



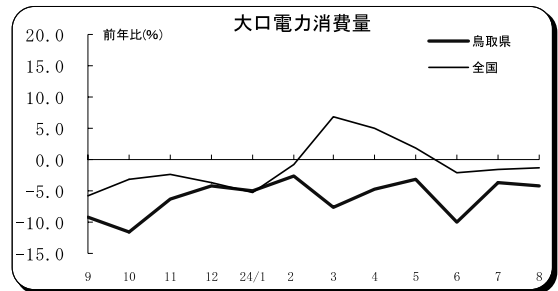
## 【大口電力消費量】～22ヶ月連続で減少～

8月の大口電力使用量は、前年比▲4.2%と22ヶ月連続で前年を下回った。

### ◆産業別電力消費量

機械(前年比▲9.7%)、パルプ・紙(同▲1.6%)

全国の使用量は、全ての業種において減少し同▲1.4%と3ヶ月連続で前年を下回った。



## 【水産業】～漁獲量、漁獲金額ともに減少～

境港の8月の漁獲量は2,300トン（前年比▲61.5%）と4ヶ月連続で前年を下回った。

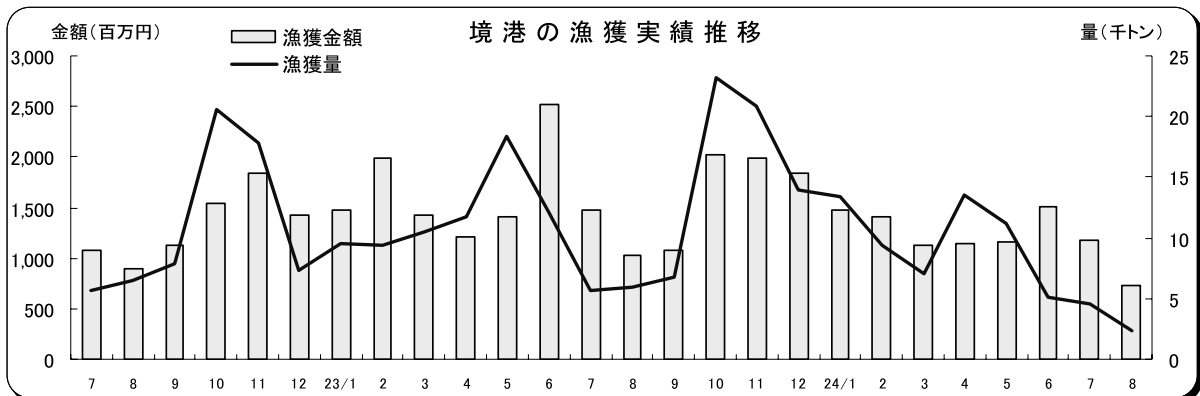
漁獲金額は7億35百万円（同▲28.6%）と8ヶ月連続で前年を下回った。

### ◆魚種別水揚げ高

前年を上回ったのはサバ230トン（同+63.1%、4ヶ月連続）、イカ1トン（前年漁獲実績なし）。

前年を下回ったのはアジ1,033トン（同▲69.0%2ヶ月連続）、ウルメイワシ3トン（同▲91.9%、2ヶ月連続）、片ロイワシ0トン（前年実績240トン、5ヶ月連続）、その他1,033トン（同▲53.7%、3ヶ月連続）。

※ベニズワイガニとマイワシは漁獲実績なく、前年実績もなかった。



# 建設

## 【公共工事】 ～件数は微増、請負金額は微減～

8月の県内の公共工事の受注（西日本建設業保証鳥取支店の保証取扱）は、請負金額が65億76百万円（前年比▲2.5%）と9ヶ月ぶりで前年を下回った。件数は220件（同+2.3%）と2ヶ月ぶりで前年を上回った。

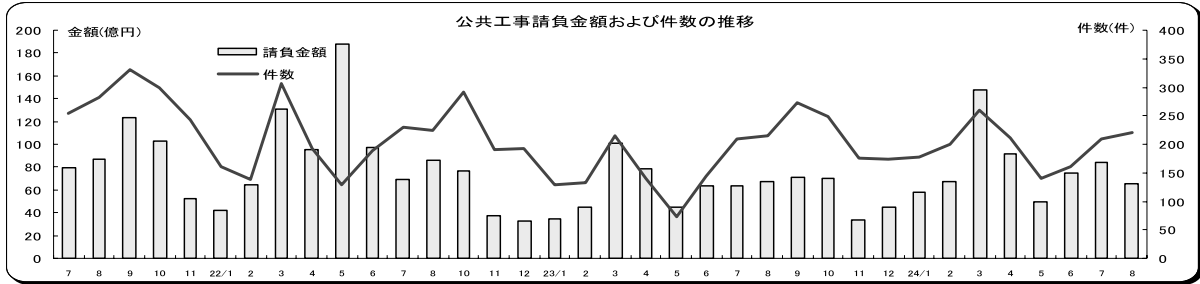
請負金額を発注者別にみると、国は13億42百万円（同+19.9%）と前年を上回り、県は28億19百万円（同▲5.9%）と前年を下回り、市町村は22億58百万円（同+6.0%）と前年を上回った。請負金額2億円以上の大型工事は、鳥取市が発注し

たりぎんバードスタジアム大型映像装置基礎ほか改修工事があった。

公共工事請負金額(平成24年4月～平成24年8月累計) (単位=億円,%)

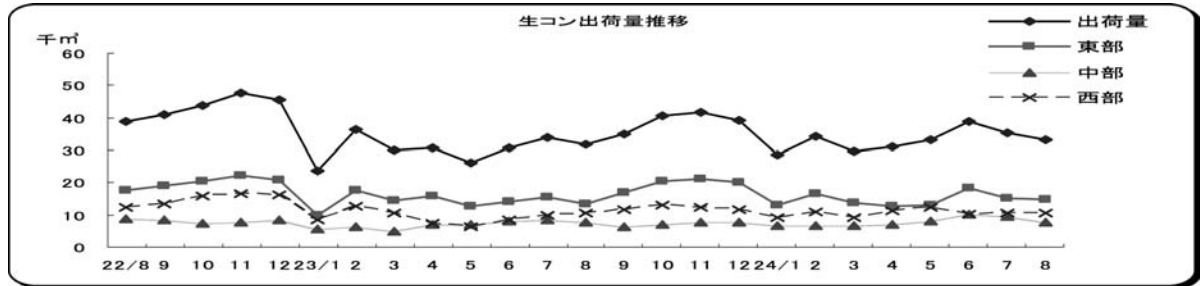
発注者別	前年同期比		地区別	前年同期比		工種別	前年同期比	
	金額	件数		金額	件数		金額	件数
国	78.3	17.1	東 部	152.0	10.6	土 木	239.7	24.2
独立行政法人等	1.4	▲42.7	八 頭	17.6	▲40.0	建 築	80.9	0.4
鳥取県	131.3	▲4.5	中 部	58.4	21.1	電 気	17.0	19.8
市町村	124.4	30.4	西 部	113.9	31.8	管 道	11.3	1.5
その他	30.7	89.3	日 野	24.1	42.5	測・調・設 その他	11.4	▲24.4
合 計	366.1	15.0					5.7	31.4

資料=西日本建設業保証(株)鳥取支店の「公共工事動向」



## 【生コン出荷量】 ～5ヶ月連続で増加～

8月の県内の生コン出荷量（鳥取県生コンクリート工業組合まとめ）は、33,162m<sup>3</sup>と5ヶ月連続で前年を上回った。地区別では、東部地区は2ヶ月ぶりで、中部地区は4ヶ月連続で、西部地区は5ヶ月連続で上回った。

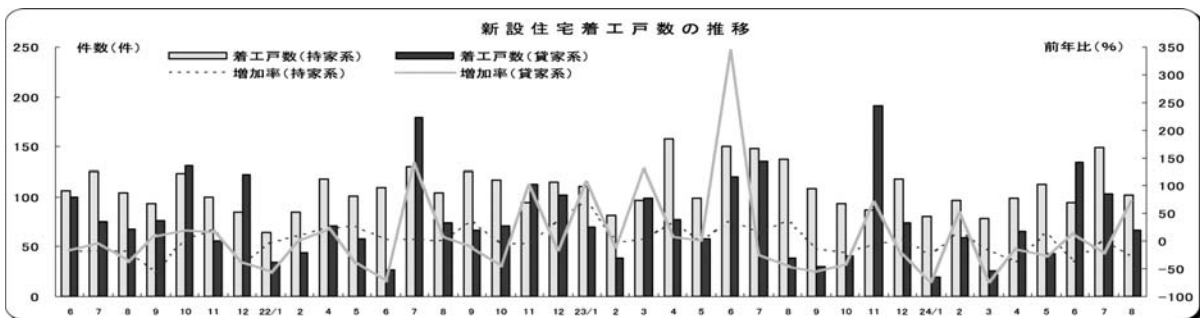


## 【住宅着工】 ～総数は6ヶ月連続で減少～

8月の県内の新設住宅着工戸数は、総数が169戸（前年比▲7.7%）と6ヶ月連続で前年を下回った。用途別では、持家は90戸（同▲34.3%）と6ヶ月連続で前年を下回った。貸家（給与住宅含む）は67戸（同+71.8%）と2ヶ月ぶりで上回り、分譲住宅は12戸（同+71.4%）と2ヶ月連続で前年を上回った。地区別では、鳥取市、米子市が総数で前年を上回った。

地区別新設住宅着工戸数(平成24年8月) (単位=戸,%)

	総 数	前 年		持 家	前 年		分 譲	前 年		貸家系	前 年	
		同 月 比	同 月 比		同 月 比	同 月 比		同 月 比	同 月 比			
合 計	169	▲7.7	90	▲34.3	12	71.4	67	71.8				
鳥取市	59	47.5	36	9.1	5	66.7	18	350.0				
米子市	82	2.5	26	▲48.0	7	250.0	49	75.0				
倉吉市	2	▲81.8	2	▲80.0	0	—	0	—				
境港市	8	▲42.9	8	▲42.9	0	—	0	—				
郡 部	18	▲52.6	18	▲40.0	0	—	0	—				



# 消 費

## 【百貨店売上】 ～2ヶ月連続で減少～

8月の県内3百貨店の売上高は、14億26百万円（前年比▲1.8%）と2ヶ月連続で前年を下回った。

上回った品目：食堂・喫茶(同+16.4%、5ヶ月ぶり)、その他(同+2.9%、3ヶ月連続)等

下回った品目：衣料品(同▲2.4%、5ヶ月連続)、雑貨(同▲7.2%、2ヶ月連続)、身回品(同▲2.0%、2ヶ月ぶり)、家庭用品(同▲1.4%、3ヶ月ぶり)等

全国の売上高は、前年比▲0.9%と4ヶ月連続で前年を下回った。

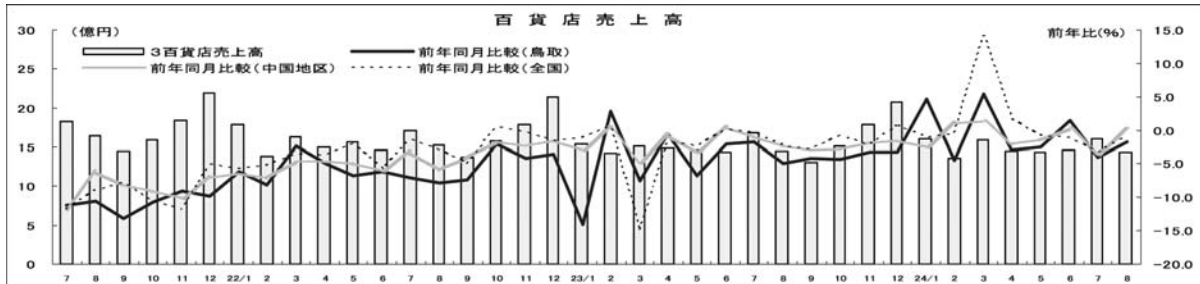
中国地区の売上は、同+0.1%と2ヶ月ぶりで前年を上回った。

## 百貨店売上高

(単位=百万円、%)

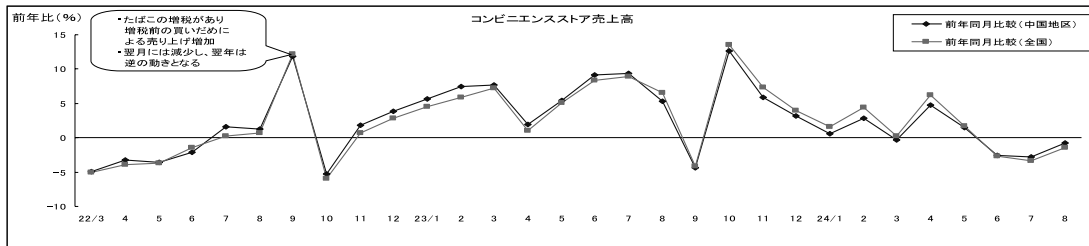
	24年 8月	前年 同月比
合 計	1,426	▲ 1.8
衣 料 品	454	▲ 2.4
身 回 品	106	▲ 2.0
雑 貨	223	▲ 7.2
家 庭 用 品	81	▲ 1.4
食 料 品	480	▲ 0.7
食堂・喫茶	61	16.4
サービス他	22	2.9

注：単位未満四捨五入



## ◆参考指標【コンビニエンスストア】

8月の中国地区のコンビニエンスストアの売上高は、前年比▲0.8%と3ヶ月連続で前年を下回った。全国の売上高は、前年比▲1.4%と3ヶ月連続で前年を下回った。・・・都道府県ごとの集計は行われていません



## 【自動車販売】 ～11ヶ月連続で増加～

8月の新車販売台数（軽自動車を含む）は、1,986台（前年比+15.1%）と11ヶ月連続で前年を上回った。

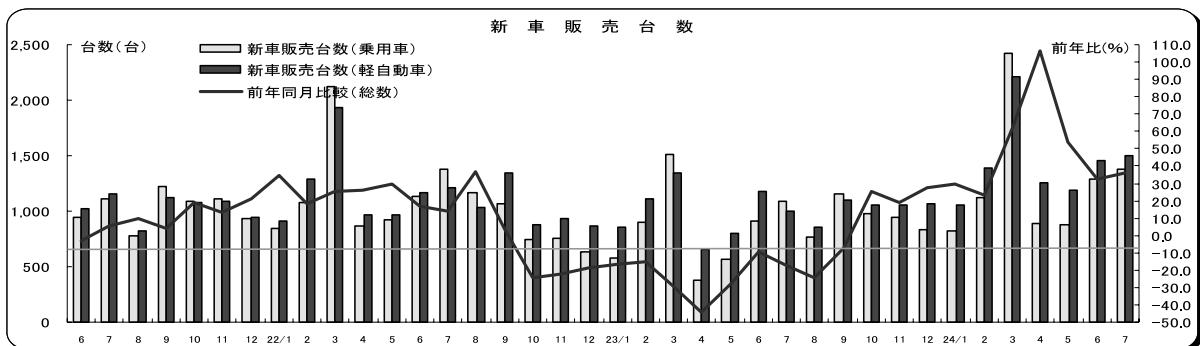
車種別にみると、乗用車が881台（同+15.2%）と12ヶ月連続で前年を上回った。内訳は、普通車が354台（同+2.3%）と11ヶ月連続で、小型車が527台（同+25.8%）と12ヶ月連続で前年を上回った。軽自動車は1,007台（同+18.1%）と11ヶ月連続で前年を上回った。バスは3台（同▲25.0%）と2ヶ月ぶりで前年を下回った。貨物車等は95台（同▲7.8%）と11ヶ月ぶりで前年を下回った。また、中古車は378台（同+10.2%）と2ヶ月連続で前年を上回った。

## 自動車販売台数

(単位=台、%)

	24年 8月	前年 同月比
新車合計	1,986	15.1
乗 用 車	881	15.2
普 通 車	354	2.3
小 型 車	527	25.8
貨物車等	95	▲ 7.8
バ ス	3	▲25.0
軽自動車	1,007	18.1
中古登録車	378	10.2

資料 = 鳥取県自動車販売店協会



# 雇 用

～有効求人倍率は3ヶ月ぶりの0.6倍台～

8月の県内の職業紹介状況をみると、新規求人数は3,912人（前年比▲2.8%）と2ヶ月ぶりで前年を下回り、新規求職者数は3,102人（同+2.5%）と2ヶ月連続で前年を上回った。新規求人倍率（季調済）は1.06倍と前月（1.24倍）を0.18ポイント下回った。有効求人倍率（季調済）は0.69倍と前月（0.71倍）を0.02ポイント下回り、3ヶ月ぶりの0.6倍台となった。

◆新規求人数一般・2,260人（▲139人・▲5.8%）

【増加した業種】建設業（+55人・+26.8%）等

【減少した業種】製造業（▲13人・▲5.3%）

金融・保険業（▲22人・▲35.5%）

卸・小売業（▲29人・▲8.2%）等

◆パート・1,652人（+25人・+1.5%）

【増加した業種】医療・福祉（+54人・+32.9%）

卸・小売業（+66人・+17.1%）等

【減少した業種】宿泊・飲食業（▲25人・▲7.1%）

製造業（▲28人・▲18.2%）等

◆雇用保険受給者実人員・3,661人（+1.3%）

9ヶ月連続で前年を上回った。

◆雇用調整助成金計画届受理状況(8月、休業対象)

156事業所、3,436人（▲367人・▲9.7%）

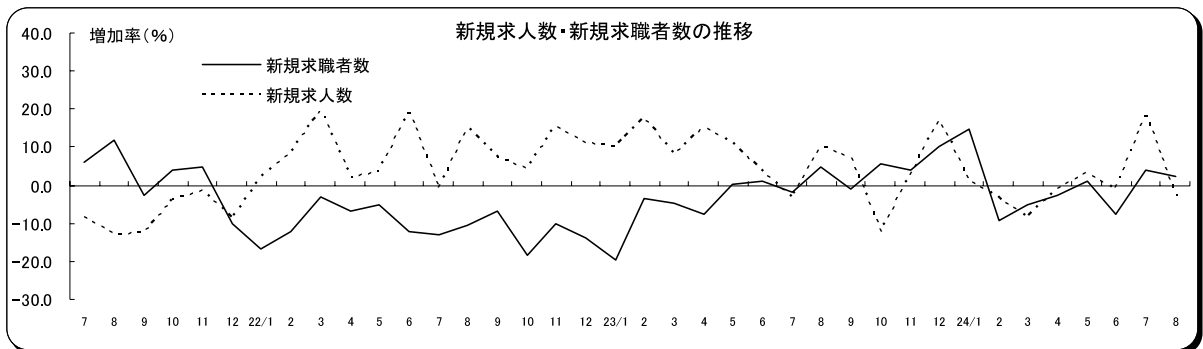
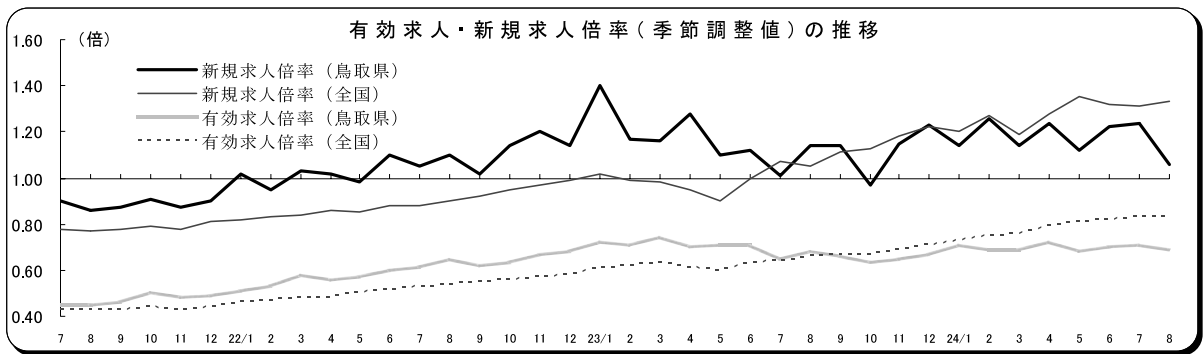
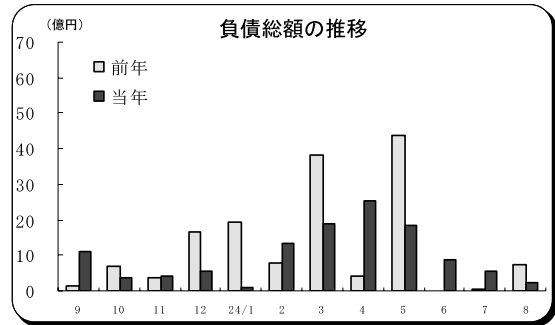
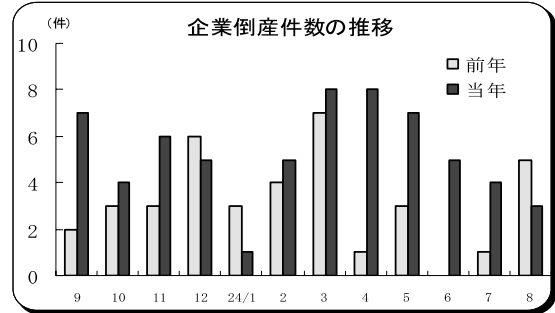
# 企 業 倒 産

～倒産件数、負債額ともに減少～

8月の県内企業の倒産（東京商工リサーチ鳥取・米子支店調べ、負債総額1千万円以上）は、3件で2億47百万円（前年同月比▲67.3%）。

前月との比較では、件数は▲1件、負債総額は▲3億07百万円だった。

大口倒産（負債額3億円以上）はなかった。



## 国 内 経 済 指 標

	実質国内 総生産 (季調済)	機械受注額 (船舶・電民 力を除く)	建設工事 受注 (50社)	所定外 労働時間 (製造業)	全 国 百貨店 販売額	貿易通関額		外国為替相場 米ドル 直物終値	基準割引率および 基準貸付金利		長期プライムレート	
						輸 出	輸 入		実施日	利率	実施日	利率
						年度比 前期比	年度比	年度比	前年比	前年比	億 円	円/ドル
20 年	▲ 4.1	▲ 14.1	▲ 12.3	▲ 6.3	▲ 4.2	810,181	789,548	90.28	3. 7. 1	5.50	22. 6.10	1.45
21 年	▲ 2.4	▲ 20.6	▲ 14.2	▲ 32.6	▲ 10.1	541,706	514,994	92.13	3.11.14	5.00	22. 8.10	1.40
22 年	2.3	7.0	▲ 5.2	31.7	▲ 3.0	673,996	607,650	81.51	3.12.30	4.50	22. 9.10	1.45
23 年		7.4		▲ 0.9	▲ 2.3	608,068	624,120	77.57	4. 4. 1	3.75	22.10. 8	1.30
23. 8	(7-9)	2.2	9.3	▲ 0.8	▲ 0.2	53,575	61,328	76.58	4. 7.27	3.25	22.11.10	1.40
9	1.8	9.6	▲ 9.3	1.7	▲ 3.6	59,807	56,803	76.70	5. 2. 4	2.50	22.12.10	1.60
10	(10-12)	1.2	24.3	4.3	▲ 0.8	55,128	57,866	78.81	5. 9.21	1.75	23. 1.12	1.50
11		13.0	21.0	1.2	▲ 2.2	51,977	58,824	78.01	7. 4.14	1.00	23. 2.10	1.65
12		0.1	6.4	1.5	3.0	0.7	56,237	58,288	77.57	7. 9. 8	0.50	23. 3.10
24. 1	(1-3)	5.8	24.6	▲ 0.7	0.9	45,105	59,919	76.30	13. 1. 4	0.50	23. 4. 8	1.70
2		8.9	▲ 1.8	2.0	▲ 0.5	54,384	54,130	80.49	13. 2.13	0.35	23. 5.10	1.55
3		1.3	3.1	▲ 0.3	3.9	14.2	62,037	62,908	82.17	13. 3. 1	0.25	23. 6.10
4	(4-6)	9.1	16.2	15.2	1.6	55,660	60,899	80.74	13. 9.19	0.10	23. 8.10	1.35
5		▲ 7.1	▲ 0.9	11.3	▲ 0.9	52,332	61,435	78.81	18. 7.14	0.40	23. 9. 9	1.40
6		0.2	▲ 8.8	4.6	2.4	▲ 1.2	56,430	55,827	79.61	19. 2.21	0.75	24. 3. 9
7		▲ 1.9	8.0	▲ 0.3	▲ 3.3	53,133	58,307	78.28	20.10.31	0.50	24. 5.10	1.30
8		▲ 5.6	8.7	▲ 2.8	▲ 0.9	50,459	58,000	78.46	20.12.19	0.30	24. 7.10	1.25
調査機関	内 閣 府	国土交通省	厚生労働省	経済産業省	財 務 省	日 本 銀 行		みずほコーポレート銀行				

pは速報値、rは修正値 ※除携帯電話

## 鳥 取 県 経 済 指 標 (1)

単 位	推計人口 (注1)	推 計 世 帯 数 (注1)	景気動向指数			電 力 消 費 量				公共工事保証実績		
			先 行 指 数	一 致 指 数	遅 行 指 数	総 数	前年比	大口電力	前年比	件 数	請負金額	前年比
			%			百万kWh	%	百万kWh	%	件	百万円	%
20 年	594,915	213,930				3,952.3	1.5	979.9	4.3	2,274	87,650	▲ 3.3
21 年	591,150	215,050				3,802.4	▲ 3.8	907.8	▲ 7.4	2,759	98,950	11.5
22 年	587,772	216,298				3,977.6	4.6	947.3	4.4	2,461	98,783	2.0
23 年	585,475	213,183				3,849.1	▲ 3.2	871.7	▲ 8.0	2,129	71,736	▲ 27.4
23. 8	584,757	217,456	72.2	61.6	70.3	335.4	▲ 11.2	77.2	▲ 11.1	215	6,743	▲ 4.0
9	584,733	217,494	71.0	62.0	70.3	338.7	▲ 10.9	75.7	▲ 9.3	273	7,092	6.2
10	585,475	213,183	67.2	57.0	69.4	293.2	▲ 6.7	74.4	▲ 11.7	248	6,986	▲ 9.3
11	585,528	213,360	70.8	59.5	70.1	275.5	▲ 8.4	69.1	▲ 6.3	175	3,358	▲ 9.7
12	585,275	213,365	71.6	66.9	69.4	309.5	▲ 2.3	71.0	▲ 4.3	173	4,472	36.9
24. 1	584,933	213,357	69.4	67.5	65.9	363.8	▲ 3.4	67.7	▲ 4.9	177	5,823	68.3
2	584,624	213,324	71.5	69.5	63.7	357.6	▲ 2.3	66.1	▲ 2.5	200	6,709	50.9
3	584,243	213,295	71.8	57.2	66.8	344.2	3.3	69.4	▲ 7.6	260	14,798	46.8
4	582,325	212,575	68.3	54.8	r 71.2	314.3	▲ 6.1	64.8	▲ 4.7	212	9,172	16.4
5	582,787	213,592	68.3	61.3	r 69.7	271.6	▲ 4.6	64.3	▲ 3.1	141	4,938	10.0
6	582,618	213,832	67.2	51.0	69.0	272.2	▲ 3.6	68.2	▲ 9.9	160	7,523	18.1
7	582,422	213,853	68.0	54.0	71.3	293.3	▲ 8.2	77.0	▲ 3.8	209	8,396	32.0
8	582,203	213,612				345.6	3.0	74.0	▲ 4.2	220	6,576	▲ 2.5
調査機関	鳥 取 県 統 計 課					中国電力(株)鳥取支社				西日本建設業保証(株)		

注1：年別は10月1日現在、月別は1日現在。

鳥 取 県 経 済 指 標 (2)

単 位	出荷指数 (注1)	在庫指数 (注1)	新 設 住 宅 着 工						百貨店売上高		スーパ-売上高 (注2)	
			総 数	前年比	持 家 (分譲を含む)	前年比	貸 家 (給与を含む)	前年比	県内3 百貨店	前年比	県内13社	前年比 (既存店)
	前 年 比		戸	%	戸	%	戸	%	百万円	%	百万円	%
20 年	▲ 6.0	6.6	2,954	▲ 7.8	1,694	▲ 7.8	1,260	▲ 7.9	23,088	▲ 6.9	39,883	▲ 0.7
21 年	▲ 11.6	▲ 5.4	2,076	▲ 29.7	1,155	▲ 31.8	921	▲ 26.9	20,515	▲ 11.1	41,602	▲ 5.5
22 年	21.3	▲ 8.6	2,140	3.1	1,257	8.8	883	▲ 4.1	19,449	▲ 5.2	44,068	▲ 2.1
23 年	▲ 5.1	▲ 9.0	2,365	10.5	1,395	11.0	970	9.9	18,658	▲ 4.1	39,372	▲ 10.7
23. 8	▲ 7.5	▲ 16.2	181	1.7	145	39.4	36	▲ 51.4	1,452	▲ 5.0	3,932	▲ 4.3
9	▲ 9.1	▲ 14.0	138	▲ 28.5	108	▲ 14.3	30	▲ 55.2	1,308	▲ 4.2	3,342	▲ 3.8
10	▲ 11.8	▲ 14.4	134	▲ 28.7	93	▲ 20.5	41	▲ 42.3	1,511	▲ 4.4	3,330	▲ 3.4
11	▲ 9.5	▲ 14.4	278	34.3	87	▲ 7.4	191	69.0	1,786	▲ 3.3	3,470	▲ 1.4
12	▲ 3.2	▲ 13.0	192	▲ 11.5	118	2.6	74	▲ 27.5	2,068	▲ 3.2	4,030	▲ 5.0
24. 1	▲ 0.6	▲ 11.5	100	▲ 44.4	81	▲ 26.4	19	▲ 72.9	1,609	4.7	4,060	0.9
2	3.7	▲ 13.5	156	28.9	97	18.3	59	51.3	1,357	▲ 4.5	3,143	▲ 6.7
3	▲ 15.4	▲ 1.4	104	▲ 46.9	78	▲ 19.6	26	▲ 73.7	1,588	5.4	3,270	▲ 1.2
4	▲ 16.5	5.3	164	▲ 30.2	99	▲ 37.5	65	▲ 15.6	1,450	▲ 3.0	3,375	▲ 5.8
5	▲ 18.6	9.1	156	▲ 0.6	113	14.1	43	▲ 25.9	1,426	▲ 2.5	3,471	0.6
6	▲ 24.9	10.9	228	▲ 15.6	94	▲ 37.3	134	11.7	1,458	1.5	3,337	▲ 4.3
7	▲ 32.9	18.1	252	▲ 11.0	149	0.7	103	▲ 23.7	1,610	▲ 4.0	3,494	▲ 5.2
8			169	▲ 7.7	102	▲ 29.2	67	71.8	1,426	▲ 1.8	3,989	1.5
調査機関	鳥取県統計課		国 土 交 通 省						当 行	鳥取県統計課		

注1：鳥取県鉱工業指数

注2：スーパー売上高のp(速報値)は中国経済産業局調べ

鳥 取 県 経 済 指 標 (3)

単 位	新 車 販 売				中古車販売		消費者物価指数 <sup>(注3)</sup>		求 人 倍 率		常用雇用指数	
	乗 用 車	前年比	軽自動車	前年比	新規登録	前年比	鳥 取 市	前年比	新 規	有 効	事業所規模 30人以上	前年比
	台	%	台	%	台	%	22年=100	%	倍 (季節調整済)		22年=100	%
20 年	11,091	▲ 7.0	13,613	▲ 6.1	3,859	▲ 12.2	102.5	1.9	1.07	0.67	96.5	0.9
21 年	11,220	1.5	12,727	▲ 4.9	4,441	15.1	101.4	▲ 1.1	0.86	0.47	95.9	▲ 0.6
22 年	12,717	13.3	13,491	6.0	4,397	▲ 1.0	100.0	▲ 1.4	1.05	0.60	91.3	▲ 4.8
23 年	10,624	▲ 16.5	12,085	▲ 10.4	4,383	▲ 0.3	99.8	▲ 0.2	1.16	0.69	89.5	▲ 1.8
23. 8	765	▲ 34.6	853	▲ 17.3	343	9.6	100.1	0.4	1.14	0.68	98.3	▲ 0.1
9	1,152	7.7	1,100	▲ 18.0	335	▲ 11.4	100.0	0.4	1.14	0.68	98.4	0.1
10	977	32.2	1,059	21.2	331	▲ 12.0	99.8	0.1	0.97	0.63	96.0	▲ 2.4
11	946	25.6	1,058	13.0	328	▲ 3.5	99.8	0.3	1.15	0.65	98.0	2.0
12	831	30.7	1,062	22.9	359	▲ 3.8	99.7	0.2	1.23	0.67	95.0	▲ 3.0
24. 1	824	41.8	1,054	22.4	241	10.6	99.8	0.4	1.14	0.71	96.8	1.8
2	1,121	24.4	1,387	24.3	318	▲ 8.4	99.9	0.5	1.26	0.69	102.4	4.5
3	2,422	60.2	2,210	64.6	549	▲ 3.7	100.2	0.6	1.14	0.69	102.3	3.4
4	891	133.2	1,253	91.6	388	▲ 21.6	100.5	0.8	1.24	0.72	104.5	5.3
5	875	53.5	1,191	48.5	350	▲ 7.4	100.3	0.3	1.12	0.68	104.0	5.1
6	1,288	40.8	1,458	24.3	364	▲ 1.6	99.8	▲ 0.1	1.22	0.70	104.5	5.6
7	1,382	26.6	1,499	49.3	391	26.5	99.7	▲ 0.3	1.24	0.71	105.1	6.7
8	881	15.2	1,007	18.1	378	10.2	99.9	▲ 0.2	1.06	0.69		
調査機関	鳥 取 県 自 動 車 販 売 店 協 会						鳥取県統計課		鳥 取 労 働 局		鳥取県統計課	

注3：生鮮食品を除く総合



鳥 取 県 経 済 指 標 (4)

単 位	勤労者世帯消費支出 (注1)		常用労働者1人平均月間 現金給与総額 (事業所規模 30人以上)		通関実績 (境税関支署管内)(注2)				境 港 漁 獲 実 績			
	円	前年比 %	円	前年比 %	輸 出 百万円	前年比 %	輸 入 百万円	前年比 %	数 量 ト ン	前年比 %	金 額 百万円	前年比 %
20 年	283,792	▲ 3.4	306,564	▲ 0.3	74,001	0.9	59,509	7.1	107,212	▲ 8.5	20,846	▲ 1.6
21 年	288,190	▲ 1.5	286,635	▲ 5.2	39,700	▲ 46.4	32,975	▲ 44.6	119,072	11.1	16,526	▲ 20.7
22 年	286,149	▲ 0.7	287,488	0.4	59,415	49.7	40,907	24.1	118,535	▲ 0.5	15,363	▲ 7.0
23 年	269,493	▲ 5.8	270,327	▲ 6.0	58,665	▲ 1.3	48,645	18.9	147,946	24.8	19,445	26.6
23. 8	269,982	▲ 12.7	253,261	▲ 1.2	5,357	2.8	6,133	19.2	5,980	▲ 7.5	1,030	15.2
9	274,663	6.5	242,331	▲ 1.1	4,330	▲ 22.0	3,374	8.6	6,786	▲ 14.1	1,071	▲ 5.6
10	268,082	▲ 6.0	242,599	▲ 0.5	4,986	▲ 8.0	3,785	43.4	23,212	12.5	2,026	30.9
11	249,403	▲ 4.1	245,588	▲ 3.2	4,190	▲ 16.0	3,291	2.5	20,830	16.9	1,983	7.4
12	303,375	▲ 4.3	532,536	1.3	3,600	▲ 33.6	4,619	22.6	13,894	88.9	1,838	29.5
24. 1	274,473	▲ 21.1	245,604	2.8	3,509	▲ 24.4	3,881	1.1	13,408	41.6	1,474	▲ 0.2
2	293,350	11.1	246,403	1.2	3,422	▲ 33.2	3,561	7.7	9,433	0.6	1,408	▲ 29.4
3	368,691	40.6	249,228	1.8	4,275	▲ 24.0	3,518	▲ 26.2	7,036	▲ 33.2	1,128	▲ 20.8
4	331,957	18.8	251,849	▲ 0.5	4,449	▲ 23.9	3,146	▲ 20.9	13,550	15.6	1,143	▲ 0.5
5	253,103	7.1	244,650	0.5	3,795	▲ 13.8	4,111	10.1	11,166	▲ 39.2	1,167	▲ 17.1
6	248,074	5.9	426,156	5.9	4,709	▲ 10.2	3,245	▲ 14.5	5,170	▲ 57.4	1,515	▲ 39.8
7	254,079	4.0	408,922	▲ 2.0	4,283	▲ 19.5	3,755	▲ 9.0	4,575	▲ 19.0	1,176	▲ 20.0
8	252,229	▲ 6.6			3,971	▲ 11.5	3,058	▲ 38.3	2,300	▲ 61.5	735	▲ 28.6
調査機関	総務省統計局		鳥取県統計課		境 税 関 支 署				(社)境港水産振興協会			

※注1：月平均、農林漁業世帯含む世帯。

※注2：美保(米子)空港を含む

鳥 取 県 経 済 指 標 (5)

単 位	鳥取県銀行協会 会員銀行				不 渡 手 形				企 業 倒 産			
	預 金 億 円	前年比 %	貸出金 億 円	前年比 %	枚 数 枚	前年比 %	金 額 百万円	前年比 %	件 数 件	前年比 %	負債総額 百万円	前年比 %
20 年	18,809	▲ 0.3	10,976	▲ 2.5	955	57.6	1,123	133.0	79	51.9	29,159	38.6
21 年	19,513	3.7	11,091	1.0	573	▲ 40.0	661	▲ 41.1	63	▲ 20.3	20,064	▲ 31.2
22 年	20,040	2.7	11,172	0.7	302	▲ 49.3	328	▲ 51.8	32	▲ 49.2	8,365	▲ 58.3
23 年	20,702	3.2	11,091	▲ 0.7	659	118.2	683	108.2	46	43.8	14,574	74.2
23. 8	20,799	4.0	11,009	▲ 1.3	113	145.7	151	386.6	5	400.0	756	656.0
9	20,536	4.0	11,095	▲ 0.7	39	333.3	42	976.9	7	250.0	1,108	847.0
10	20,321	2.7	11,024	▲ 0.8	41	355.6	47	2852.8	4	33.3	372	▲ 46.9
11	20,554	3.4	10,986	▲ 0.9	46	70.4	39	321.0	6	100.0	402	3.1
12	20,702	3.3	11,091	▲ 0.7	9	0.0	5	15.4	5	▲ 16.7	556	▲ 66.8
24. 1	20,305	2.7	11,022	▲ 1.1	66	▲ 9.6	64	▲ 5.8	1	▲ 66.7	80	▲ 95.9
2	20,342	2.8	11,038	▲ 1.4	73	23.7	47	24.3	5	25.0	1,330	66.3
3	20,542	3.5	11,227	0.2	57	▲ 26.0	36	▲ 69.6	8	14.3	1,866	▲ 51.2
4	20,682	2.3	10,965	▲ 0.4	78	81.4	52	16.6	8	700.0	2,546	536.5
5	20,605	1.0	10,871	▲ 1.4	47	▲ 42.7	15	▲ 80.7	7	33.3	1,829	▲ 58.1
6	21,335	1.3	10,902	▲ 1.1	6	▲ 80.0	6	▲ 71.1	5	—	877	—
7	20,837	▲ 0.2	10,896	▲ 1.3	36	▲ 23.4	15	▲ 59.6	4	300.0	554	1008.0
8	20,876	0.4	10,958	▲ 0.5	9	▲ 92.0	3	▲ 98.2	3	▲ 40.0	247	▲ 67.3
調査機関	鳥 取 県 銀 行 協 会				県 内 ( 3 市 ) 手 形 交 換 所				(株)東京商工リサーチ鳥取支店			

## 山陰海岸ジオパーク認定から2年

平成24年10月4日に、鳥取県から京都府にかけての『山陰海岸』が『世界ジオパーク』に認定されてから2年となります。

『世界ジオパーク』は、ユネスコの支援で設立された国際組織『世界ジオパークネットワーク』によって認定されるもので、地質や地形が科学的にみて貴重な、あるいは美しい地質遺産を含む一種の自然公園です。

『世界遺産』との大きな違いは、地質遺産の保護に加え、教育や地域の活性化に活かしていく事を目標としている点です。また、その運営を重視し4年に一度見直しが行われます。つまり、半分が経過したわけです。

ジオパークで必要とされる取組は『地質遺産の保護・保全活動』、『教育・調査研究』、『ジオツーリズム』、『産業振興』などで、これらの取組が地域振興に役立つことが期待されています。

そこで、今までの『山陰海岸ジオパーク』での取組や今後の課題を紹介します。

◇ 地質遺産の保護・保全活動
鳥取砂丘 除草作業…昨年の参加者5,909人（今年でほぼ砂丘再生完了） 一斉清掃…4,000人（年々増加中） 湖山池周辺一斉清掃 上地（わじ）の棚田…水路確保に関する支援
◇ 教育・調査研究
学校教育（子供達）…校外学習支援事業による予算化 市内全小学校を対象に現地体験学習（貸切バス代） 社会教育（市民） 市民大学での講座を定期開講 公民館単位でジオパークを学ぶ行事への講師派遣 民間企業でジオパークを学ぶ行事への講師派遣 鳥取砂丘ジオガイドをジオパークセンターに配置
◇ ジオツーリズム
旅行商品開発…着地型観光の実現 鳥取市観光コンベンション協会との連携 鳥取砂丘ジオパークセンターのPRと周遊できるほかの施設との連携 平成24年8月8日に開場以来20万人の入館者達成
◇ 産業振興
食事メニュー、お土産の開発 モサエビバーガー、梨サイダーなどに続く商品の開発 商品名に『ジオパーク』の入る商品の開発 草の根的に広がる地元生産者の取組を支援 新しいブランド商品の開発と定着化

山陰海岸ジオパーク推進協議会事務局へうかがったところ、認定を受けているほかの地域のジオパークと大きく違うのが、3府県3市3町にまたがる広域での認定であり、このエリア内各自治体単位での取組が基本ですが、それぞれが連携しながら推進しなければならないという事です。

定期的に連携会議を開催し、意見交換を行う中で出てきた共通課題を解消するための、各自治体間の調整、支援といったことを協議会として行っているそうです。連携での取組としてはスタンプラリー、写真コンクールなどが行われています。また、各エリアでのガイドの養成も必要でこれを受けて各地のガイドを集めて交流会も行われました。更に、ガイドには救急・防災に関する基礎知識も求められることから、協議会が公認ガイドを認定する案もあるようです。

これまでの2年間の取組を更に充実させる事が、2年後の再認定を受ける鍵となります。産業振興策として民間企業、地域団体の自主的な各種商品開発促進のための補助制度が用意されています。興味のおありの企業、団体の方がいらっしゃいましたら鳥取県、鳥取市の担当部署へお問合せしてみられてはいかがでしょうか。

## 相談ジャーナル

鳥取銀行では毎週火曜日(倉吉中央支店)、水曜日(米子ローンプラザ)、木曜日(くらしと経営相談所)にて、税理士による無料税務相談を開催しています。お客様の個別・具体的な税金のお悩みに対して親切、丁寧に対応させていただきます。

※開催日につきましては、担当税理士の都合により変更される場合がございますので、事前に最寄の鳥取銀行の窓口までお問合せください。

### 相談事例① ～Q&A～ ローンを借換した場合の住宅借入等特別控除について

Q 住宅借入等特別控除については、サラリーマンの場合、控除1年目は確定申告が必要で、控除2年目からは年末調整の際に控除を受けることになっていますが、例えば8年目にA銀行からB銀行にローンを借換した場合には確定申告が必要でしょうか、教えてください。

A サラリーマンの場合、控除1年目に確定申告が必要ですが、2年目以降は、

①「給与所得者の住宅借入金等特別控除申告書」

「年末調整のための住宅借入金等特別控除証明書(3年目以降は省略)」

②「住宅取得資金にかかる借入金の年末残高等証明書」

を給与の支払者(会社)に提出して、年末調整でその控除を受けることができます。

①の書類については、控除1年目の確定申告の後、税務署から送付されます。

②の書類については、銀行等から送付されるものでローンを借換した場合は借換後のローンの年末残

高等証明書が借換後の銀行から送付されます。

ローンを借換したからといって確定申告をする必要は無く、①と②の書類を給与の支払者(会社)に提出すれば年末調整で引続き控除を受けることができます。

※詳細については税務署でお尋ねください。

～相談ジャーナル24.9～

大きな夢を、この定期預金で!

TOTTORI  
BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

# 億万長者になるチャンス!



重丸作

3年間で6回  
ジャンボ宝くじを  
お届け!

平成24年発売の年末ジャンボ宝くじから送付いたします。

お預け入れ金額が900万円(一口あたり)の場合

ドリームジャンボ宝くじ(連番)	30枚
年末ジャンボ宝くじ(連番)	30枚
3年間合計	180枚

とりぎん

宝くじ付

# 夢定期預金

取扱期間/平成24年9月10日(月)~平成24年11月9日(金)

上記期間中であっても募集総額100億円に達した時点で取扱いを終了いたします。

募集総額

100億円

定期預金のお預け入れ金額が多いほど、高額当せんのチャンスがアップ!

定期預金の利息も受け取れます!

お預け入れ金額/一口あたり100万円、300万円、600万円、900万円の4種類 お預け入れ期間/3年

当行に新たにお預け入れいただく資金に限定させていただきます。\*当行で既にお預け入れいただいている定期預金からのお預け入れは対象外となります。

お申込み・お問い合わせは〈とりぎん〉の窓口まで

平成24年9月10日現在

★詳しくは裏面をご覧ください。

# とりぎん 宝くじ付 夢 定期預金

商 品 名	とりぎん 宝くじ付夢定期預金																
募 集 総 額	100 億円																
取 扱 期 間	平成 24 年 9 月 10 日(月)～平成 24 年 11 月 9 日(金) ※上記期間中であっても募集総額 100 億円に達した時点で取扱いを終了いたします。																
販 売 対 象	個人のお客さま																
預 入 資 金	・当行に新たにお預け入れいただく資金に限定させていただきます。 ※当行で既にお預け入れいただいている定期預金からのお預け入れは対象外となります。																
取 扱 店	全営業店(ローンプラザを除く)																
定 期 預 金 の 種 類	スーパー定期、スーパー定期 300																
預 入 期 間	3 年 ※自動継続(元金継続または元利金継続)のみのお取扱いとなります。尚、自動継続後は宝くじのお届けはありません。																
預 入	・預入方法 一括預入 ・預入金額 一口あたり100万円、300万円、600万円、900万円の4種類 ・預入単位 100 万円単位																
払 戻 方 法	満期日以後一括払戻 (一部支払は取扱いできません。)																
利 息	・適用金利 3 年ものスーパー定期、スーパー定期 300 の店頭表示金利 ※お利息は源泉分離課税(税率 20 %)の対象となります。平成25年1月1日以降は、復興特別所得税0.315%が課されるため税率20.315%となります。 ・利払方法 満期日以後一括支払 ・計算方法 付利単位を1円とし、1年を365日とする日割計算で、6ヶ月ごとの複利計算で算出																
手 数 料	—																
付 加 可 能 な 特 約 事 項	・総合口座の担保としてもご利用いただけます。 ・マル優のご利用ができます。																
中 途 解 約 時 の 取 扱 い	・やむを得ず期限前解約される場合は当行所定の期限前解約利率を適用いたします。詳しくは、《定期預金中途解約時の取扱い》をご参照ください。																
金 利 情 報 の 入 手 方 法	・金利については、店頭窓口またはホームページにてご確認ください。																
進 呈 する 宝 く じ	【宝くじの種類、送付頻度、枚数】 ・景品としてお客さまに進呈する宝くじは、宝くじを販売する都道府県および指定都市から株式会社みずほ銀行が販売事務を受託する「ドリームジャンボ宝くじ」と「年末ジャンボ宝くじ」とします。(一口あたりの預入金額が100万円の場合、「年末ジャンボ宝くじ」のみ進呈の対象となります。) ・進呈する宝くじは「連番」のみのお取扱いとなります。 ・お客さまに送付する宝くじの種類、送付頻度、送付枚数は、一口あたりの預入金額に応じて、次のとおりとします。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>一口あたりの預入金額</th> <th>100万円</th> <th>300万円</th> <th>600万円</th> <th>900万円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>進呈する宝くじ(年間)</td> <td>—</td> <td>10枚</td> <td>20枚</td> <td>30枚</td> </tr> <tr> <td>3年間合計</td> <td>15枚 (5枚×3年間)</td> <td>60枚 (20枚×3年間)</td> <td>120枚 (40枚×3年間)</td> <td>180枚 (60枚×3年間)</td> </tr> </tbody> </table>	一口あたりの預入金額	100万円	300万円	600万円	900万円	進呈する宝くじ(年間)	—	10枚	20枚	30枚	3年間合計	15枚 (5枚×3年間)	60枚 (20枚×3年間)	120枚 (40枚×3年間)	180枚 (60枚×3年間)	
一口あたりの預入金額	100万円	300万円	600万円	900万円													
進呈する宝くじ(年間)	—	10枚	20枚	30枚													
3年間合計	15枚 (5枚×3年間)	60枚 (20枚×3年間)	120枚 (40枚×3年間)	180枚 (60枚×3年間)													
	【宝くじ進呈スケジュール】 ・初回にお届けする宝くじは「平成24年発売の年末ジャンボ宝くじ」からとなります。以降の進呈スケジュールは、次のとおりとします。																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回 次</th> <th>進呈する宝くじ</th> <th>回 次</th> <th>進呈する宝くじ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初 回</td> <td>平成 24 年 年末ジャンボ宝くじ</td> <td>4 回目</td> <td>平成 26 年 ドリームジャンボ宝くじ</td> </tr> <tr> <td>2 回目</td> <td>平成 25 年 ドリームジャンボ宝くじ</td> <td>5 回目</td> <td>平成 26 年 年末ジャンボ宝くじ</td> </tr> <tr> <td>3 回目</td> <td>平成 25 年 年末ジャンボ宝くじ</td> <td>最終回</td> <td>平成 27 年 ドリームジャンボ宝くじ</td> </tr> </tbody> </table>	回 次	進呈する宝くじ	回 次	進呈する宝くじ	初 回	平成 24 年 年末ジャンボ宝くじ	4 回目	平成 26 年 ドリームジャンボ宝くじ	2 回目	平成 25 年 ドリームジャンボ宝くじ	5 回目	平成 26 年 年末ジャンボ宝くじ	3 回目	平成 25 年 年末ジャンボ宝くじ	最終回	平成 27 年 ドリームジャンボ宝くじ
回 次	進呈する宝くじ	回 次	進呈する宝くじ														
初 回	平成 24 年 年末ジャンボ宝くじ	4 回目	平成 26 年 ドリームジャンボ宝くじ														
2 回目	平成 25 年 ドリームジャンボ宝くじ	5 回目	平成 26 年 年末ジャンボ宝くじ														
3 回目	平成 25 年 年末ジャンボ宝くじ	最終回	平成 27 年 ドリームジャンボ宝くじ														
	【宝くじ進呈の基準日と発送時期】 ・宝くじは、次に定める毎年の基準日現在に本定期預金を預入されているお客さまに送付します。但し、初回進呈の対象となる「平成24年発売の年末ジャンボ宝くじ」の送付基準日は、平成24年11月9日(金)現在において本定期預金の残高があるお客さまを対象とし、2回目以降の進呈基準日は、次のとおりとします。尚、 <u>基準日現在で本定期預金が解約されている場合には、宝くじのお届けはありません。</u> (基準日現在で、当初お預け入れ時の残高があるお客さまが対象となります。)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>進呈する宝くじの種類</th> <th>基準日</th> <th>お届け予定時期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドリームジャンボ宝くじ</td> <td>毎年 4 月末日</td> <td>毎年 5 月下旬</td> </tr> <tr> <td>年末ジャンボ宝くじ</td> <td>毎年 10 月末日</td> <td>毎年 12 月中旬</td> </tr> </tbody> </table>	進呈する宝くじの種類	基準日	お届け予定時期	ドリームジャンボ宝くじ	毎年 4 月末日	毎年 5 月下旬	年末ジャンボ宝くじ	毎年 10 月末日	毎年 12 月中旬							
進呈する宝くじの種類	基準日	お届け予定時期															
ドリームジャンボ宝くじ	毎年 4 月末日	毎年 5 月下旬															
年末ジャンボ宝くじ	毎年 10 月末日	毎年 12 月中旬															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>宝くじは銀行届出のご住所に簡易書留郵便にてお届けします。転居先不明などによる返送で宝くじをお届けできない場合、宝くじをお受取りになる権利はなくなります。</li> <li>宝くじは、当行が提携する宝くじ送付事務委託業者から送付します。</li> <li>そのため、住所、氏名、送付する宝くじの枚数に関する情報を当該業者に提供します。なお、これらの情報は宝くじ送付事務の目的にのみ利用します。</li> </ul>																
そ の 他 参 考 と なる 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>本預金は、満期までお預け入れいただく契約に基づき、すべてのお客さまに同条件のもとで宝くじの提供を行うため、当行がやむを得ないと認めて満期前に解約した場合、または、その公平性を害するおそれがあると当行が判断する場合は、宝くじの提供の中止及び場合によっては、提供した宝くじの購入費用をご負担いただく場合があります。</li> <li>宝くじの発売時期変更等により、宝くじをお届けする時期が前後する場合があります。</li> <li>窓口のみの取扱いといたします。ATM、砂丘ダイレクトサービスでの取扱いはいたしません。</li> <li>通帳式定期(総合口座を含む)のみの取扱いといたします。</li> <li>本預金は、満期日に前回と同一期間のスーパー定期またはスーパー定期300に自動的に継続します。継続後の利率は、継続日における店頭表示金利を適用いたします。</li> <li>「とりぎんポイントサービス」による本商品の金利上乗せはいたしません。</li> <li>他の金利上乗せ商品との併用はできません。</li> <li>〈イオン鳥取北支店、イオン日吉津支店をご利用のお客さまへ〉 インスタアランチポイントサービスにつきまして、本キャンペーンによるお取引はポイントの対象外となります。</li> <li>本商品は預金保険制度の対象であり同保険の範囲内で保護されます。</li> <li>詳しくは店頭窓口またはホームページの商品説明書をご覧ください。</li> </ul>																

定期預金に関するお問合せは  
お近くのとりぎん窓口または右記まで

とりぎんダイレクトマーケティングセンター

☎ 0120-86-6915

受付時間/平日9:00～19:00

TOTTORI  
BANK



青い鳥の銀行です。  
鳥取銀行

平成24年9月10日現在

# 経 済 日 誌

12年9月

## 鳥 取 県 内

- 5日 日立金属（東京都）が、鳥取市南栄町の鳥取工場で製造している携帯電話部品など主力製品の生産を来年3月末までに海外工場に移管する方針であることが分かった。大幅な事業縮小が見込まれ、従業員の一部を同社内の事業所へ配置転換する方針とのことである。
- 6日 ベニズワイガニの水揚げ日本一を誇る境漁港では、今季初の水揚げがあった。初日の漁獲量は424kg（1kg=30g）で13トンの。台風の影響を受けた昨季水揚げの6倍でのスタートとなった。初競での1kg当たりの最高値は4万円（姿売り用）と例年の2倍、平均は7700円と例年並みとなった。漁は来年6月末までの6ヶ月間続く。
- 12日 境港市は、水木しげるロードの年間入込客数が3年連続で200万人を突破したと発表した。過去最速だった昨年より約1ヶ月遅い突破となった。今年の目標は270万人との事。
- 13日 三洋電機は、同社の事業部門「CEビジネスユニット」の事業を来年1月、子会社で同じ敷地内にあるテガ三洋工業に譲渡すると発表した。テガ三洋が手掛ける受託製造の技術開発力を強化し、県内での事業継続に繋げる狙い。人員配置や処遇については今後、労働組合などと協議する。
- 17日 中国・上海を拠点とする格安航空会社「春秋航空」は、上海—米子鬼太郎空港（境港市）間で計画していた全10往復の連続チャーター便について全便の運航中止を鳥取県に伝えた。沖縄県・尖閣諸島国有化に端を発した反日感情の高まりを原因とするキャンセルが相次いだものと思われる。国際まんが博期間中であり同チャーター便での中国人観光客を1000人程度見込んでいた。
- 23日 国際まんが博の巡回展示「とっとりまんがドリームワールド」倉吉会場は、盛況のうちに閉幕した。鳥取、倉吉両会場を合わせた入場者数11万2千人となった。特に倉吉会場では予想を上回る4万8千人に達し、平井知事は翌日の県議会本会議で「かなり順調な集客」と説明した。
- 26日 機械工具の製造を手掛けるアロイ工業（岡山県真庭市）が、鳥取市河原町布袋の市布袋工業団地内にリチウムイオン電池製造工場を開設することが分かった。来年度中の操業開始を目標とし、若桜町中原の旧池田小学校跡地に人材育成と研究開発の拠点を設け、2ヶ所で計130人程度の雇用を計画している。
- 県西部から出雲市に至る広範囲な圏域の21商工団体が、「中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会」を発足させた。中海圏域の6団体で組織に宍道湖、大山圏域の計15団体を加え再編した。3圏域の市長会と足並みを揃え産業や観光の基盤整備を促進する。

## 国内・海外

- 3日 日本郵政グループのゆうちょ銀行とかんぽ生命保険は、2013年4月からの新規事業を総務省と金融庁に認可申請した。民間金融機関からは「民業圧迫につながる」との批判が強まる。
- 4日 金融庁は、A I J投資顧問による年金消失事件を受けた再発防止策を発表した。投資顧問など運用会社が不正をしていないか信託銀行に監視させるほか、罰則の強化も盛り込む。運用会社の投資先は外部監査を受けたファンドに限定する。
- 6日 欧州中央銀行のドラギ総裁は、ドイツ・フランクフルトでの理事会後の記者会見で、国債利回りが上昇（価格は下落）しているスペインを年頭に、財政危機に陥った国の国債を無制限に買い支える用意があると表明した。
- 11日 財務省と内閣府は、7～9月期の法人企業景気予測調査で大企業の景気判断指数（BSI）がプラス2.2と1年ぶりにプラスになったと発表した。
- 14日 政府は、閣僚によるエネルギー・環境会議を開き、「2030年代に原発稼働ゼロを可能とする」との目標を掲げた新たなエネルギー戦略を決めた。脱原発を求める世論を受けて従来の原発推進路線を転換し、初めて政府方針に原発ゼロ目標を明記した。
- 19日 国土交通省は、2012年の基準地価が全国平均では住宅地、商業地ともに下落したが、三大都市圏以外でも下げ止まりの傾向が広がったと発表した。また、南海トラフ巨大地震で津波が想定される地域では大きな下落となった。
- 日銀は、金融政策決定会合で国債などの資産買い入れ基金の規模を10兆円増額し80兆円とする4月以来の追加金融緩和を決めた。市場へ潤沢に資金を供給し、金利低下を促すことで円高是正を図るもの。ゼロ金利政策は維持する。
- 20日 中国税関当局が、日本からの輸入品に対する検査率引上げなどで通関検査を強化した。沖縄県・尖閣諸島国有化に対する報復措置の一環とみられ、日中間の貿易が停滞する恐れがでてきた。
- 26日 5候補乱立となった自民党総裁選は、安倍晋三元首相を第25代総裁に選出した。1回目の投票で1位だった石破茂氏を決選投票で56年ぶりに逆転した。石破氏を幹事長に起用するなどの新執行部が28日に発足した。
- 28日 厚生労働省は、生活保護の不正受給に対する罰則引上げや「制裁金」導入を盛り込んだ「生活支援戦略」の素案を社会保障審議会特別部会に示した。生活困窮者への就労支援を含めた最終案を年内にまとめる。